

4. 口腔がん・咽頭がん・鼻のがん

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし ○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日						各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ					
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術		化学療法	放射線療法				ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容				
			摘除術	再建術		体外照射	IMRT	小線源治療	治療内容		治療実績	医師の専門分野			
1 歯科口腔外科	4	3	状況	○	○	○	×	×	×	癌切除からリハビリまで一貫して行っています。	ア	歯科口腔外科 http://www.gh.opho.jp/patient/examination/73.php	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり	あり	なし	なし	なし		イ	http://			
2 耳鼻咽喉・頭頸部外科	6	4	状況	○	○	○	×	×	×	頭頸部がん(喉頭がん、上・中・下咽頭がん、口腔がん、鼻副鼻腔がん、甲状腺がん、耳下腺・顎下腺がん、外耳がん、頭部腫瘍)に対する集学的治療(手術、放射線治療、化学療法)を行います。インフォームドコンセントを重視し、腫瘍の部位や進行度に応じた標準治療を中心に、機能温存や患者様の顔面や手足の先天奇形や新鮮外傷、皮膚軟部組織の良性および悪性腫瘍、外傷や熱傷、手術等により生じた外表の変形や欠損などに対する形成外科独自の治療から、外科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、口腔外科等との連携による悪性腫瘍切除後の再建や、救急診療科との連携による顔面や四肢の熱傷や外	ア	耳鼻咽喉・頭頸部外科 http://www.gh.opho.jp/patient/examination/71.php	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり	あり	なし	なし	なし		イ	http://			
3 形成外科	4	3	状況	×	○	×	×	×	×	顔面や手足の先天奇形や新鮮外傷、皮膚軟部組織の良性および悪性腫瘍、外傷や熱傷、手術等により生じた外表の変形や欠損などに対する形成外科独自の治療から、外科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、口腔外科等との連携による悪性腫瘍切除後の再建や、救急診療科との連携による顔面や四肢の熱傷や外	ア	形成外科 http://www.gh.opho.jp/patient/examination/72.php	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	なし	あり	なし	なし	なし	なし		イ	http://			
4 放射線治療	2	2	状況	×	×	×	○	○	×	IMRTを用いて、機能温存を目指した治療を行っています。	ア	放射線治療科 http://www.gh.opho.jp/patient/examination/75.php	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	なし	なし	なし	あり	あり	なし		イ	http://			
5			状況								ア	http://			
			実績								イ	http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況
 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること

昨年の治療実績ありの疾患名
 ※平成25年1月1日~12月31日
 例: 舌がん、歯肉がん、頬粘膜がん、唾液腺がん、上顎がん、下顎がん、上咽頭がん、中咽頭がん、下咽頭がん、鼻腔がん
 舌がん、歯肉がん、頬粘膜がん、唾液腺がん、上顎がん、下顎がん、上咽頭がん、中咽頭がん、下咽頭がん、鼻腔がん、副鼻腔がん